

予算審査特別委員会 における各会派討論

◎会派清新

長引くコロナ禍により先が見えない状況が続くなか、ここ数年着実に成果をあげているふるさと納税の首都圏を中心とした積極的なPR活動と、市内業者と連携し、新たな返礼品開発により歳入の確保に努められたい。

市民が安心して生きがいを持って活動できるよう、コロナ対策や市民交流プラザなどの施策においては充実した内容にするよう望む。教育分野において、GIGAスクール構想の充実した活用とグローバル化が進む国際社会に対応できる人材育成のため、語学指導の充実に努められたい。病院事業会計はコロナ収束後を見据え、医業収益の確保、経費の節減、中堅看護師の確保など経営の安定化に向けた取り組みを進めることを望む。

◎新政会

いまだに収束しないコロナへの対策は、予算執行において迅速かつ的確な対応が求められ、年度内においても、国の施策に敏感に対応することを求める。

人口減少が進む本市において、現在策定を進めている滝川市総合計画、滝川市公共施設個別施設計画、立地適正化計画は、市政の重要な道しるべとなり、住み続けたいまちにするためにも、知恵を結集した計画とすることを望む。

後期高齢者医療における地域包括ケア等の広域的な対応、また高齢者の予防医療並びに健全な組織運営に努力されたい。下水道設備の長寿命化を計画的に実施すること。市内病院及び医師会との連携を密にし、さらなる協力体制を構築し、医療従事者の確保と滝川市立病院経営改善計画による着実な健全経営を望む。

◎会派みどり

高齢者、障がい者に対するきめ細やかな施策を引き続き丁寧に実施し、全ての事業の事前PRとアフターフォローを大切に、住みよいまち滝川を目指すこと。市民交流プラザの開設運営については、利用者の声を反映し積極的に活動支援をすることを望む。他市の道路陥没事故を教訓に、市内の道路・橋梁・河川の監視及び補修をし、市民生活の向上を目指し対応するよう求める。

国民健康保険税の収納率は年々改善しているが、公平性確保のためさらなる改善を求める。高齢化が進むなか、健康な老後生活を促すためにも特定健診の受診項目拡大とさらなる勤奨を求める。病院事業では、依然として厳しい収支状況のなか、コロナ対策の空床確保交付金のみならずさらなる経営改善に努めていただきたい。

◎公明党

今後のコンパクトなまちづくりと財政負担の縮減に向けて非常に重要な計画となる滝川市公共施設個別施設計画の策定にあたっては、市民意見を反映する一方で、将来的に廃止せざるを得ない施設については、大なたを振るってでも市民理解を求めるようなものにする。

滝川の将来を思うとき、いつ起こるか分からない自然災害、また人口減少・基幹産業の低迷などが考えられ、決して明るいとは言えない。新滝川市総合計画をはじめとする各計画が本市の将来を決定づけるとの思いと、市職員には滝川の将来を築くのは今の自分たちであるとの自覚と誇りを持って、職務に努めていただきたい。

◎日本共産党

新年度に多くの学校施設の改修工事が行われるが、子どもが安全安心に過ごせる学校施設を優先した滝川市公共施設個別施設計画を策定されたい。多くの市立・公立病院はコロナ禍ということもあり、経営を黒字化し安定させることは容易ではない。経営改善計画実施支援業務委託の成果が見えないのであれば、見直し対象とする必要がある。

生活保護利用者に有益な制度を様々な媒体を活用して周知することが行政の務めだと考える。給食調理の委託化により安定した供給が確保され課題のひとつが解決したが、給食費の無償化・軽減措置に向けて今後取り組むよう求める。